

あきしまの教育

編集・発行 昭島市教育委員会事務局

東京都昭島市田中町1-17-1 / ☎042(544)5111
http://www.city.akishima.lg.jp/

新型コロナウイルス感染症対策について

小・中学校での新型コロナウイルス感染症対策について

6月の学校再開から、各小・

中学校では、三密を避け、児童・生徒、教職員の安全を確保するために、様々な場面で工夫をしています。

○水飲み場でソーシャルディスタンスを確保する工夫



学校でのソーシャルディスタンス

○適切な手洗いについて理解できるように、立体模型を作成し、掲示した。



掲示板での呼びかけ

小・中学校の水道蛇口を自動水栓とレバーハンドル式水栓に交換しました

各小・中学校への新型コロナウイルス感染症対策強化に必要な支援として、手指接触の機会を避け感染のリスクを低減させることを目的に、トイレ手洗いの蛇口をセンサー式自動水栓に、水飲み場の蛇口をレバーハンドル式の水栓に、取り換えました。



センサー式自動水栓



レバーハンドル式水栓

山下教育長からのメッセージ



昭島市教育委員会教育長 山下 秀男

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない中にあっても、自他を守るための生活に向き合い、工夫し、しっかりと実践している子どもたちを誇りに思っております。また、保護者や地域の皆様に温かいご理解とご協力をいただく中で、教育活動を着実に進めていくことができます。改めて御礼申し上げます。

各学校においては、既存の学習活動や行事等を見直し、様々な工夫を図ることで、学びの充実に向けて取り組んでまいりました。しかしながら、対話的な活動を通して学びを深める活動や、交流を通して相互理解を図る活動等では、苦勞する場面も見られたところでです。

これからの学校は、G I G

Aスクール構想の目的を達成するために、学びの革新を図っていかねばなりません。子どもたちの新しい学びを創造することは、ウィズコロナを实践する学校の新しい生活様式への対応にもつながります。昭島市教育委員会は、今年度中に、児童・生徒に一人一台の端末を配備するとともに、通信環境の改善を仕上げています。その上で、子どもたちが必要な情報を収集し、その情報を基に学び合い、多様な見方・考え方を働かせて学びを深める授業を創造してまいります。インターネット上の情報を活用するにあたっては、情報の正確性や公平性について吟味し、様々な情報の中から必要な情報を取捨選択する能力を高める必要があります。また、インターネット上のトラブルにおいて、子どもたちが被害者にも加害者にもならないようにするための指導も、更に充実させていく必要があります。

今まで学校が積み上げてきた指導技術と、新しく導入していく指導技術を融合させ、温故知新の精神で子どもたちの成長につなげてまいります。

～GIGAスクール構想の実現に向けて～ 令和3年度より一人一台端末の活用が始まります

GIGAスクール構想とは？

「GIGAスクール構想」とは、文部科学省が進めている「一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備すること」で、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する「構想」です。

GIGAスクール構想により学校に教育ICT環境が整備されることで、子どもたち一人一人の反応を踏まえた双方向型の授業が可能となる「学びの深化」と、一人一人の教育ニーズや学習状況に応じた個別学習が可能となる「学びの転換」が進むことが期待されています。

昭島市の取組について

昭島市においても、GIGAスクール構想の土台となる、市立小中学校の児童・生徒に向けた一人一台の端末環境と、高速大容量の通信ネットワーク環境について、一体的に整備を進めてきました。

令和3年2月までに、一人一台の端末及び端末を充電しながら保管できるキャビネットの配備と、端末を各教室で使うための通信ネットワーク環境の強化を終え、令和3年度から本格的に活用していけるよう、準備を進めています。

昭島市では、Google社のChrome OSを搭載した端末（Chromebook）を導入します。この端末は、ノートパソコンに似た形状ですが、タッチディスプレイでの操作とキーボードでの操作の両方が可能で、小学校低学年から中学生まで、幅広い世代で多様な使い方ができるものです。

端末の本格的な活用に向けて、教員に向けた活用マニュアルの作成を進めています。また、児童・生徒が学習の場でICT機器に触れる機会が増えることから、メディアリテラシー教育の一層の充実を図っていきます。

導入する端末のスペック



端末

DELL

Chromebook

3100 2-in-1

OS

Chrome OS

ディスプレイ

11.6インチ 360度

回転式 2-in-1型

サイズ

縦約20cm×横約30cm

×厚さ約2cm

重量

1.41kg

「一人一台端末の活用イメージ」 「すぐにも」「どの教科でも」「誰でも」使えるICT

（文部科学省資料より抜粋）

◆検索サイトを活用した調べ学習

- ・一人一人が情報を検索し、収集・整理
- ・子どもたちが自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する。



◆文章作成ソフト、 プレゼンソフトの利用

- ・子どもたち一人一人が考えをまとめて発表
- ・共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合います。

◆一斉学習の場面での活用

- ・誰もがイメージしやすい教材提示
- ・一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める。

◆一人一人の学習状況に応じた個別学習

- ・デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化
- ・様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う。



令和二年度子どもの主張 意見文「コンクール」について

今年で38回目を迎える伝統のあるコンクールです。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、例年行っていた発表は行わず、事前審査で選ばれた最優秀賞・優秀賞6名の表彰式のみ執り行いました。

〈敬称略〉

【小学校の部】

◆最優秀賞

市川 美緒

（つづきが丘小六年）

「思いやりのリレー」

◆優秀賞

佐藤 彩光（玉川小六年）

「小さな発見から」

根本 美優

（拝島第二小六年）

「美しい空を守るために」

【中学校の部】

◆最優秀賞

島崎 美咲（昭和中三年）

「もったいない」

◆優秀賞

浅沼 樹里（福島中二年）

「『みんなで壁を乗り越えられる』社会に」

佐藤 楓牙（拝島中三年）

「災害が起こる前の準備」

フォレスト・イン昭和館

宿泊体験行事について

十月末から十二月にかけて市内小学校では、フォレスト・イン昭和館における一泊二日の宿泊体験行事が行われました。各学校の様子について、いくつか紹介します。

◆開校式

フォレスト・イン昭和館内のシルバンホールで、開校式が行われました。

◆夕食（テーブルマナー講座）

夕食時には、テーブルマナー講座が行われました。ホテルの方から、みんなで楽しく食事をするためのルールについて、丁寧に説明していただきました。



◆ラグビー体験

栗田工業のグラウンドでラグビー体験が行われました。栗田工業ラグビー部の方から、丁寧に指導していただきました。



◆ナイトハイク

庭園で、夕食後にナイトハイキングが行われました。グループを組み、庭園を回りました。



学校給食における

地産地消の取組

昭島市教育委員会では、地域の生産者、農業協同組合と協力しながら、学校給食における地産地消の取組を推進し、昭島産の野菜、果物、米、鶏卵を学校給食で使用しています。今年度は、昭島市の伝統野菜である「拝島ねぎ」を共同調理場に納めていただくことができました。「拝島ねぎ」は、加熱するととろけるように柔らかく、甘くなるという特徴がある一方で、栽培が難しく、栽培を続ける生産者が限られています。学校給食での提供に加えて、市内の小学校では、生産者と栄養教諭が連携して食育の授業を実施しました。「拝島ねぎ」を題材に扱った際には、伝統を守る意味や、伝統野菜の魅力について、生産者からお話をしていただきました。

「地産地消」には、品物が新鮮で美味しい、地域の活性化につながる、流通コストの削減につながるとの特長があるとされています。学校給食は、ただ地場産物を使って給食を作るといっただけでなく、その食材の背景にある作り手の思いや願いを発

信すること、生産者である農家の方と、消費者である子供たちを繋ぐ役割を担いたいと思っています。地場産物の効果的な活用によって、昭島市の子供たちへの情操教育や郷土愛の醸成に寄与することができそうです。

共同調理場校において「昭島産野菜の味噌汁」を提供した際には、野菜を納品していただいた生産者から『みんなと同じで、昭島で育った昭島の野菜です。美味しく食べてくださいいね。』という素敵なメッセージをいただきました。その言葉は、直接教室へ訪ねて伝えた他、「こんだてメモ」を通して児童・生徒へ発信いたしました。

今後も、地域との連携を図り、地産地消の多様な可能性を広げていきたいと考えています。



税についての作文の

入賞者を決定

市内の中学生が応募し、審査の結果、次の方を入賞者に決定しました。(敬称略)

【税についての作文】

◆昭島市長賞

久保田 祐花(拝島中3年)

◆昭島市教育長賞

廣瀬 智(拝島中3年)

◆立川都税事務所長賞

松尾 彩香(拝島中3年)

◆多摩納税貯蓄組合連合会

重野 ひなこ(拝島中3年) 優秀賞

受賞作品については、令和3年1月7日から14日まで、市役所市民ロビーにてパネル展示を実施しました。



第67回昭島市成人式



1月11日(成人の日)に、フォレスト・イン昭和館において成人式が行われ、新成人の門出を祝いました。来場者は593名(対象者1,025人)で、参加率は57.9%でした。

式典は新成人7人の実行委員が約半年間にわたり企画し、準備を進めてきました。今回新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、恩師の先生方にもご出席を見合わせていただき、ビデオメッセージを募集しました。実行委員がいただいたメッセージを1本の動画に編集し、当日は受付や司会進行も務めました。

また、感染症拡大防止にあたり人数を半減するため、学校区

ごとに午前の部、午後の部の二部制で開催しました。市長挨拶に続き、来賓のご祝辞と実行委員の誓いの言葉で厳かに執り行われました。残念ながら今年度は実行委員企画の抽選会は実施できませんでした。検温や消毒を徹底し、写真撮影時にもマスクを着用していただく等、新成人の方にも感染症拡大防止にご協力いただきました。

子どもを守る協力者を募集

◎通学路安全連絡員

子どもの登下校時の安全を守るため、「通学路安全連絡員」として、自分の都合に合わせて通学路やその周辺のパトロールを行っていただきます。

◎ピーボくんの家の登録者

子どもの緊急避難場所「ピーボくんの家」として、自宅や事業所にプレートを表示し、子どもが危険を感じたときに助けを求められるようご協力いただきます。

◎ご協力いただける方は

申請書(市役所学務係にあり/市ホームページからダウンロード可)を市役所学務係へ提出してください。

なお、今まで登録していた方

が、活動できなくなった場合は連絡してください。

※詳しくは指導課学務係へ

内線2238

通学路安全連絡員の腕章



ピーボくんの家のプレート



ご寄付ありがとうございました(敬称略)

「昭島市立小・中学校の新型コロナウイルス感染症対策のために」

▽非接触式電子体温計

栗田工業株式会社

「児童の情操教育のために」

▽音楽CD 400枚

Sean North

教育委員会の動き

第12回定例会(12月17日)

(協議事項)

●令和2年度昭島市立学校卒業式における告辞及び令和3年度昭島市立学校入学式にお

るお祝いの言葉について

(報告事項)

●教育委員と市立小中学校校長との情報交換会について

ほか8件

第1回定例会(1月21日)

(議案)

●令和3年度昭島市立学校校長等の任用に関する内申について

ほか1件

(協議事項)

●昭島市いじめ防止対策推進基本方針の改正について

ほか1件

(報告事項)

●令和2年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果について

ほか6件

第2回定例会(2月18日)

(報告事項)

●令和3年度教育施策推進の基本的考え方について

ほか12件

